

令和5年

新しい自治会支援  
について  
意見交換会 報告書

日野市  
企画部地域協働課





## (1) 各会場の参加状況

開催日（令和5年）	会場	参加自治会数	参加人数
6月17日（土）10時～12時	平山交流センター3階大ホール	12	14
6月24日（土）10時～12時	新町交流センター①1階ホール	13	21
6月24日（土）14時～16時	新町交流センター②1階ホール	9	11
7月1日（土）10時～12時	福祉支援センター①2階 第一会議室	14	20
7月1日（土）14時～16時	福祉支援センター②2階 第一会議室	3	4
7月9日（日）10時～12時	多摩平交流センター①3階集会室6	12	19
7月9日（日）14時～16時	多摩平交流センター②3階集会室6	13	16



## (2) 市の提案といただいたご意見

### 加入促進支援策（案）

- 市でも加入申し込みの受付を行います。
- 市のホームページから加入申込ができるようにします。
- 自治会活動を積極的にPRし加入促進に努めます。
- 地域かわら版、市ホームページ等で自治会活動を紹介
- 転入者に積極的に自治会をPRし魅力を伝えます。
- 転入者向けチラシ（Yes自治会！）の内容の充実を図ります
- 不動産事業者を介して加入促進チラシ配布（希望自治会）

### いただいたご意見

- 若者や転入者が自治会に興味を持つような仕組みづくりを支援してほしい。
- 加入促進が上手くいっている自治会の事例を教えてほしい。
- 各自治会が編集できる加入促進チラシを作成してほしい。
- 若年層へのPRと防災に特化したPRをしてほしい。



## 地域・他団体との連携支援策（案）

- 繋がる場をつくっていきます。
  - 自治会同士や他団体との交流機会を作ります。
- アイデアや取り組みを共有していきます。
  - 自治会運営のアイデア集を新しく作ります。
  - 交流サイトHi-Know!を活用していきます。
- 市の担当窓口をわかりやすく明確にして相談体制を整えます。
  - 地域協働課の地区担当者は顔の見える関係づくりを心掛けていきます。
  - 意見を聞いて自治会お役立ち連絡リストを作成します。
- 地域協働課として市の各課と連携して縦割りの弊害を解消していきます。

## いただいたご意見

- 自治会同士が積極的に議論できる場を設けてほしい。
- 小規模自治会のため、近隣自治会と連携してイベントを行いたい。
- 地域の中で、アイデアやスキルを持った方を発掘し活動すると良い。
- 近隣自治会（4自治会）で防災会を作っており合同開催による支出金の抑制と負担軽減に繋がっている。



## 負担軽減のための支援策（案）

- 回覧の負担軽減(関係機関に協力を働きかけます)
- 市から発送する回覧物を月2回から月1回に減らします。
- 希望する自治会には回覧データを送付します。
- 市ホームページにも回覧物のデータを掲載します。
- 市からの業務依頼の軽減を図ります。
- 地域協働課から市役所各課に対し、自治会に依頼する業務の軽減を依頼します。(一斉清掃など)

## いただいたご意見

- 市から調査依頼が次から次へと来るので整理してもらいたい。
- LINEが有料化されたため、市で無料のSNSを作成してほしい。
- 回覧物はデータも紙も両方お願いしたい。
- 回覧物を日野市公式LINEなどで公開すると自治会の負担軽減につながる。
- 唯一の活動のため一斉清掃は無くさないでほしい。



## 補助金による支援（案）

- 補助金制度全般について、以下のような見直しを検討しています。
- 自治会補助金は、算出の基となる数を現行の「自治会の総世帯数」から「自治会の加入世帯数」への変更を考えています。
- 自治会が行う事業（未加入者世帯を対象とした事業含む）に対しての補助項目を考えています。
- 既存のインセンティブ補助金の機能を「自治会補助金」の新たな項目として見直したいと考えています。（自治会補助金への一本化）  
⇒申請手続きの簡素化
- 補助金の申請をデータでできる申請様式を整備します。

## いただいたご意見

- 未加入を含めた現在の補助金を継続してほしい。
- 補助金を頼りに活動しているので現状から減額しないでほしい。
- 活動している自治会に対して補助する仕組みは良い、賛成。
- 安定的な収入となるような補助制度にしてほしい。
- インセンティブ補助金は手続きが面倒すぎるので自治会補助金と一本化して簡素化する事に賛成。
- 加入世帯への補助金とするなら金額が目減りしないよう単価を500円に上げてはどうか。
- 未加入世帯を対象としなくても活動に対する補助金を出すことは賛成だ。
- 自治会間に公平に補助していただけるようにしていただきたい。
- 補助金の在り方について将来不安を感じる。
- 加入世帯だけに補助するのは反対。現制度の方が良い。



## 補助金による支援（案）

※市が作成した案と、意見交換会に参加した自治会からの提案をまとめた案の2つが出ています。

### A 日野市作成（案）

1+2+3の合計が補助額

- 1 運営費補助 加入世帯数×250円
- 2 活動費補助 (1) 一般事業 総事業費の1/2（上限あり、上限を5万円程度で想定）  
(2) 地域活性化事業 総事業費の1/2（上限あり、上限を5万円程度で想定）  
※地域活性化事業の対象は年間40自治会程度、2年連続申請不可等の条件あり
- 3 自治会集会所補助 1施設あたり23,000円 現行通り変更なし

### B 意見交換会に参加した自治会からの提案をまとめたもの（案）

1+2+3の合計が補助額

- 1 運営費補助 加入世帯数×500円
- 2 活動費補助 総事業費の1/2（上限あり、上限を20万円程度で20自治会程度を想定）  
※制度移行初年度は、減額幅の大きな自治会を優先する等の基準を設ける
- 3 自治会集会所補助 1施設あたり23,000円 現行通り変更なし



## その他いただいたご意見

- 平日の活動はシニア世代が中心、休日は子育て世代で子どもたちを中心とした活動を行うことにより活発化している。
- 一斉清掃はドリンクやQ U Oカードを配布したところ、会員以外も参加している。
- 自分たちで課題を解決できる自治会を目指さなくてはいけない。
- 他の自治会のイベントの協力依頼が来ているためお手伝いする予定。
- 自治会同士で助け合えば、高齢化で活動できない自治会を手助けできる。
- 積極的に自治会が交流して、連携できる場を市でサポートしてほしい。
- 自治会を結成する目的とは何か。自分たちの自治会は、防災のために結成した。
- 行政が自治会の在り方を防災一本などに絞った方がいい。
- 防災に関する情報は、市から積極的に発信してほしい。
- 災害時の共助について自治会のメリットを伝えていくのはどうか。
- 防災は、自治会に加入未加入関係なく取り組むべき課題である。